

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 25 日作成)

委員会名	火災耐力設計小委員会	主 査 名：西垣太郎
所属本委員会 (所属運営委員会)	防火委員会	委員長名：室崎益輝
設 置 期 間	2002 年 04 月 ~ 2005 年 03 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	2002 年度 調査研究、資料収集 2003 年度 シンポジウム コンクリート系構造物の火災耐力 開催 2004 年度 シンポジウム資料の内容充実化 火災耐力設計式、構成則検討	
委員構成 (委員名(所属))	安部武雄(東工大)大宮喜文(東理大)門河直美(三菱地所)大塚貴弘(富山県立大)菊田繁美(戸田建設)小林 裕(大成建設)豊田康二(日総試)西垣太郎(大成建設)西村俊彦(竹中工務店)丹羽博則(大林組)原田晶利(JFE 建材)平島岳夫(千葉大)松戸正士(フジタ)宮本圭一(鹿島建設)吉野 茂(前田建設工業)	
設置 WG (WG 名:目的)		
2004 年度予算	166,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	毎月 1 回、計 12 回開催、参加者 6~11 人/回
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)
	<p>コンクリート系構造物耐火設計指針の素案であるシンポジウム資料「コンクリート系構造物の火災耐力」の内容をより高めるため、国内外の新たにピックアップした論文、文献について</p> <p>1) 高温時コンクリートの構成則 2) 熱応力が崩壊モードに与える影響 3) 爆裂現象のメカニズム</p> <p>の 3 テーマについて重点的に調査研究をおこない、遷移歪の物理的意味、合成スラブの耐火設計法、爆裂防止メカニズムについて指針案に盛り込むべく準備が整った。</p> <p>委員会 HP アドレス：</p>
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係)
	来年度以降の指針案執筆のための検討、準備は進みほぼ予定通り進んでいるが、コンクリートの熱クリープと遷移歪について物理的意味を明快にし定式化する作業が遅れている。
その他評価すべき事項	